



墜落制止用器具特別教育 (フルハーネス型安全帯)

主催：東京土建 技術研修センター

フルハーネス型安全帯は、墜落阻止時に身体が安全帯から抜け出さないように複数のベルトで構成されていますが、胴ベルト型安全帯は、1本のベルトを胴回りに巻きつけて身体拘束を行う構造になっています。墜落阻止時の衝撃荷重によって胴ベルトが伸びて緩みが生じ、胴ベルトがずり上がることによる胸部・腹部への圧迫（死亡事例が多く発生）、あるいは抜けによる地面への落下の危険性が考えられます。

また、胴ベルト型安全帯の場合、墜落阻止時に身体が「くの字」となり、腹部などへの圧迫が大きくなる可能性や、つり元であるD環の位置が身体の重心位置（腰部付近）よりも下（脚部側）になる“逆さま姿勢”となる可能性もあります。

令和4年1月2日より、現在フルハーネス型安全帯を使用している方は、特別教育が必要になります。

正しい知識や使用方法を学び、墜落による労働災害をなくしていきましょう。

と き 2022年2月27日（日）

午前9時00分より午後3時頃まで（遅刻厳禁：6時間講習）

受付開始時間 午前8時30分～（着席開始5分前）

講習会場 東京土建調布支部会館 2階

受講資格 18歳以上の組合員

定 員 20人（8人に届かない場合、講習は開催しません）

受講料 9,000円（お弁当とお茶が付きます）



支部窓口に、受講料と写真「縦3cm横2.5cm」1枚、印鑑（認印）を添えてお持ちください。申込用紙（本申込）を記入していただきます。尚、法人事業所の役員、従業員に関しては会社ヨコゴム印・代表印（丸印）が必要となります。（ライカ統合する方はライカをお持ちください）

申込み締切：2月1日（火）午後5時 担当：あかいけ

※当日欠席の場合講習料金のみ返金します。

